

就職先としての保育所を学生はどのように見ていくか

平成30年地域政策研究センター地域協働研究【ステージⅠ】採択課題

課題名：八幡平市による人口減少社会の中での地域にあった子ども子育て支援事業計画に関する研究
研究代表者：社会福祉学部 准教授 佐藤匡仁
課題提案者：八幡平市地域福祉課
研究メンバー：金田一捷誠（八幡平市地域福祉課）
技術キーワード：子ども子育て支援事業計画、保育士確保、学生から見た就職先としての保育所

▼研究の概要（背景・目標）

県内14市の中でも人口減少の激しい八幡平市では、低年齢児の待機児童の増加や保育士不足などの問題が顕著化しており、その解決に向けた取り組みが課題となっている。特に低年齢児の待機増加については実態の把握とその原因、また児童受け入れのための保育士確保について問題点・課題点を整理する必要がある。

本研究は、次期八幡平市子ども子育て支援事業計画策定に資する調査の一つとして、市の課題の一つである保育士確保問題にテーマを絞り、本学保育士資格取得希望学生の意向調査を実施した。保育士資格取得を希望する4年生は、就職先としての保育所をどのように見ていくか(待遇、地域、園の特色、雰囲気等)、考え方の手順等を尋ねた。また、判断の背後的理由に接近するために、保育所実習体験を尋ねた。これら学生目線を通して、保育士を確保するために必要な改善要素を抽出し提言することが目的である。

▼研究の内容（方法・経過）

- 1.対象：保育士資格取得を希望する本学部4年生20名
- 2.期間：2018年10月～2019年2月
- 3.方法：質問紙及びヒアリング
- 4.内容：①就職先としての保育所をどのように見ていくか(待遇、地域、園の特色、雰囲気等)、②自らの保育所実習体験について(実習を通して保育者になりたいと意を強くした出来事、実習を通してこのような保育所で働きたい・働きたくないと思った出来事他)

▼研究の成果（結論・考察）

- 1.求人票では待遇、地域を確認し、ネット等において園の特色等を詳しく調べる手順をとるが少なくないが、十分実際について分からないため園見学に移る流れが見られた。その際重要視しているのが、保育方針と共に人間関係などの雰囲気であることが示された。
- 2.例えば注意を向ける視点として、「子どもを雑に扱っていないか」「子どもの思いを聞かず一方的にかかわっていないか」「子どもを怒ってばかりいないか」「先生同士に会話や雑談があるか」「非正規職員が正規職員の悪口を話していないか」「保育士が主任保育士や園長の悪口を話していないか」等をはじめ、保育士・子ども間、保育士・保護者間、保育士同士の人間関係について指摘していた。
- 3.このような保育所で働きたいと思う職場を尋ねると、「子どもも保育士(特に新人保育士)も笑顔で生き生きしている園」「子どもの成長をかかわりの薄い保育士も一緒に喜んでいる園」「保育士同士プライベートのことも含め楽しそうに雑談している園」等を雰囲気の良いとして述べていた。

▼おわりに

調査に協力してくれた本学部保育士課程4年生に、記して謝意を表します。

Table 1 就職を考える中で、数多くの保育所をどのように見ていくか。選び方をどう進めていくか。求人票をどのように見ていくか。(代表的な記述)

- ・地域→給料→待遇→園の特色や雰囲気
- ・園見学をしたい学生が多い。個別に対応してくれるのは知っているが、園見学の情報やボランティアの情報などがもっとあれば行きやすいのではないかと。また個別対応の場合、保育者の業務が忙しく、あまりいい顔をされないのではないかと不安があるため、あらかじめ園見学の日程があると行きやすい。
- ・私は給与も大切だと思うが、職場環境を重視して就職先を選びたいと考えている。具体的には保育者同士の仲の良さ、働きやすさ、雰囲気の良さ(笑顔)などで、園見学などを通して見て決めていきたい。また、岩手県内で就職したい。知りたいことは、園の評判や先生方のご意見をお伺いしたい。多くある園全てを見ることは不可能に近い。また、自分自身でもどのような園が自分に適しているかが明確ではないため、どのような園が良いかを自分自身の中で整理し、考えていくとともに、第三者の意見として、仲間や先生方にご意見をお伺いしたい。
- ・どのようなことを大切に保育しているのか、保育者同士の関係は良好なのかが1番気になります。また、大卒の保育士の待遇、お給料についても必ず考慮します。
- ・地域→待遇→園の保育方針→先生方の人間関係、という順で考えています。賞与や退職率、転勤の有無について知りたい。
- ・就職を考える際、選択肢がたくさんあるため、まずは、地元の保育所への就職を考える。また、実習で行った保育所に魅力を感じた場合は、待遇を見て決めると思う。一貫して、園の雰囲気や職員同士の人間関係に注目して、精神的に働きやすい職場を希望する。
- ・求人票や先生方からの情報を基に自分で調べ、園見学する。職員間の雰囲気や日々の残業など、見学では知ることができない部分を知りたい。
- ・現在は、まず給料をチェックしてから、園の特色や雰囲気などを見ている。求人は関東の方がたくさん出ているように感じるため、まずはそれらを出ている分を見ている。実際に働くとなると、園の特色や雰囲気を知ることが自分らしい保育を行うためにも知るべき点だと分かっているが、それで生計を立てなければいけないことを考えると、やはり給料をチェックしてしまう。職員同士の仲の良さは非常に気になる点であるが、個人の価値観の違いもあるため、自分の目で確かめることが必要であると感じている。
- ・私は保育方針・園の規模・待遇というように見ていきます。気になる園はインターネットで調べます。年中求人を出しているところは、私は避けてしまっています。
- ・自分自身の働きたい地域の求人を見ずして、その上で、給与や待遇、福利厚生などを見るようにしている。園見学では、子どもがのびのびと遊べる環境が整っているか、園庭があるか、職員間のかかわりや連携の様子はどうか確認するようにしている。特色としては、園独自の特色に重きが置かれすぎていて、通常保育が偏ったものになっていないか見ている。
- ・待遇、人間関係、保育の様子、保護者とのかかわり、園舎の環境、園の場所など。
- ・私は岩手から離れることはできないので一番重視するのは地域ですが、本当は園の特色や雰囲気が最も気になります。待遇については、あまり意識していません。求人がいつも出ている園だと、就職しやすいのかな、とも思いますが、辞める人が多くてずっと求人が出ているのかな、とも思ってしまう。
- ・園の周りの環境や園庭があるかどうか、私のなかでは重要視したい部分である。また、実際に働いてみないと分からないことではあるが、先生同士が言いたいことを言い合える環境であってほしい。〇〇式といったスポーツなど何かに特化した園よりは、自然にのびのびと、子どもたちそれぞれが好きなことや得意なことを見つけていけるように見守る雰囲気のある園に魅力を感じる。
- ・まず、地域で絞って、園の特色を調べることで自分がそこで働いていけるかを考える。そして待遇を見る。良さそうと思ったら見学に行く。
- ・園の雰囲気が一番重視したいと思う。子どもがのびのびと遊んでいるか、子どもが保育者に心を開いているか、保育者同士がいい関係性かどうかなどは、園の雰囲気できれいと感じることができると思う。次に重視したいのは、園の特色だと考えている。自然の中でのびのびと子どもの主体性を伸ばすことや、様々なことに挑戦できる園に魅力を感じる。加えて、やはり待遇がいいかどうかは大切だと思う。自分がかかると働きたいと思える園で長く働くためには、給料や、子どもを産んだ後も働けるかどうかは大事なポイントだと思う。
- ・①岩手県内か、②給料はいくらぐらいか、③休日はいつか、④住居手当や交通費はでるのか、⑤ボーナスはあるか。また、園の雰囲気、職員同士の関係は良好かについて、知りたい。